

## 千葉科学大学の教育研究活動の特色（地域貢献活動を含む）

### 1. 危機管理教育

本学は、全学生が危機管理の素養を習得し、安全・安心な社会構築に貢献できる人材の養成を教育目標としている。初年時に全学部共通の必修科目「リスク危機管理論」を学び、危機管理の素養を全学生が身に付け、その後、各学部の特性に応じて学部ごとに専門教育において危機管理教育を実施している。特に危機管理学部においては、地震、津波、異常気象をはじめとした自然災害、交通事故などの人為的災害、さらにテロや政変、会社の倒産、感染症など様々なリスクマネジメント及びクライシスマネジメントを学び、災害医療現場、企業や動物、行政の現場、航空業界等の危機管理まで幅広い分野を対象とした教育を行っている。

危機管理教育を受けた学生たちは、それぞれ人を助ける多彩な職業に進み、医療、薬、看護、公安系公務員、更には国連平和維持活動(PKO)や災害派遣医療チーム(DMAT)などの分野で実際に活躍している人材を輩出している。自治体では必須の民間資格である「防災士」資格も、3学部では既存の授業科目を通して受験資格を得ることができ、多くの卒業生がこの資格を持って社会で活躍している。

本学で実施している危機管理関連の講義科目について、以下に示す。

科目名	学部
リスク危機管理論	危機管理学部
リスク危機管理論	薬学部、看護学部
危機管理学入門	危機管理学部
危機管理国際関係論	危機管理学部
企業経営危機論Ⅰ	危機管理学部
企業経営危機論Ⅲ	危機管理学部
企業経営危機論Ⅱ	危機管理学部
企業経営危機論Ⅳ	危機管理学部
安全保障組織論	危機管理学部
安全保障概論Ⅰ	危機管理学部
安全保障概論Ⅱ	危機管理学部
情報社会とセキュリティ	危機管理学部
安全管理学	危機管理学部
災害対策論	危機管理学部
リスク・コミュニケーション	危機管理学部
リスクマネジメント	危機管理学部

リスク認知論	危機管理学部
危機管理学特講 I	危機管理学部
危機管理学特講 II	危機管理学部
危機管理学演習 I	危機管理学部
危機管理学演習 II	危機管理学部
危機管理学研究法 I	危機管理学部
危機管理学研究法 II	危機管理学部
危機管理政策論	危機管理学部
ヒューマンエラーの心理学	危機管理学部
災害情報論入門	危機管理学部
市民防災論	危機管理学部
防災教育論	危機管理学部
金融リスク管理論	危機管理学部
危機管理工学実験	危機管理学部
危機管理関連法規	危機管理学部
危機管理と社会制度	危機管理学部
救急・災害薬学	薬学部
救急・災害時チーム医療演習	薬学部
いのちと生活Ⅲ（生活と危機管理）	看護学部
いのちと生活Ⅳ（薬と危機管理）	看護学部
災害看護学	看護学部
地域危機管理看護学実習	看護学部
危機管理看護学演習	看護学部
感染看護学	看護学部
リスクマネジメント論	看護学部
危機管理分野看護学特論Ⅰ（災害看護学特論）	看護学部
危機管理分野看護学特論Ⅱ（リスクマネジメント看護学特論）	看護学部
危機管理分野看護学特論Ⅲ（看護マネジメント学特論）	看護学部
危機管理分野看護学特別研究	看護学部
危機管理分野看護学実践特別研究	看護学部
危機管理分野看護学特別演習Ⅰ（災害看護学特別演習）	看護学部
危機管理分野看護学特別演習Ⅱ（リスクマネジメント看護学特別演）	看護学部
危機管理分野看護学実習Ⅰ（実践）	看護学部

危機管理分野看護学実習Ⅱ（教育）	看護学部
危機管理分野看護学特別演習Ⅲ（看護マネジメント学特別演習）	看護学部
予防医学・セルフケア演習	薬学部
医療人の使命	薬学部

## 2. 学部間連携教育

医療の現場では多職種連携が必須となっている。本学では社会に出た卒業生が多職種連携に円滑になじめるように薬学部、危機管理学部、看護学部の医療分野における連携教育を実施している。特に、1年次には「医療専門職連携導入」を3学部連携科目として開講している。この授業の概略は、「入学後の早い時期に、薬学部、危機管理学部保健医療学科、看護学部の学生に対してそれぞれの専門職である、薬剤師、臨床検査技師、臨床工学技士、救急救命士の医療現場での役割及び専門職連携の実態について、実際に臨床で働いている専門家に講演をしてもらっている。この話を聞くことで、各自が目指す将来の方向性について考えてもらう。その上で、臨床事例を学生に示して看護嘱、薬剤師、臨床検査技師、臨床工学技士、救急救命士のチーム医療に関する実践活動について各々で考えさす。その後、薬学部・危機管理学部保健医療学科・看護学部の学生が混在したSGD(Small Group Discussion)を実施する。SGDの内容は、グループ毎に、与えられた臨床事例の中での専門職の役割と他職種連携についてまとめ、全員の前で発表し、ディスカッションを行う。」となっており、この授業により入学後の早い時期に3学部の医療系の学生がお互いにコミュニケーションをとりながら、将来他職種で働く医療人の考え方について理解することができる。

この他の学部関連系授業として、特徴的なものは薬学部と看護学部の学生が受講している「リスク危機管理論」では、危機管理の内容をテーマとしテーマ毎に講師が入れ替わるオムニバス方式をとっている。それぞれのテーマについての講義を聴き、薬学部、看護学部の学生が合同でグループを作りSGD方式でテーマについて話し合い、その結果をグループ毎に発表し、発表内容についてのディスカッションを行なっている。この授業では、薬剤師、看護師を目指す学生が中心なので、実際の医療現場で起こりうる様々なリスク危機管理について深く考えることが出来るようになる。

## 3. 私立大学研究ブランディング事業

水産業が盛んな銚子市において、好適環境水など最新の陸上養殖技術を導入した「フィッシュ・ファクトリー」（魚類生産工場）の実用化を目指している。

これまで、銚子産の青魚（イワシ・サバ・サンマ等）のブランド化や安心・安全なモクズガニの陸上養殖技術の開発を行ってきた。

また、現在は地域の産官学金連携のもと、千葉県が養殖推進しているホンモロコの陸上養殖技術の開発に取り組んでおり、地域社会への貢献を目指している。

地域活性化、地場産業の振興、地域人材の育成等に資するべく、地元のニーズを踏まえた基礎研究を積み重ねるとともに、持続可能な水産資源に関する教育普及活動を実施し、研究開発・人材育成の両側面から地方創生を図った。なお、本事業の採択期間(平成28～31年度)はすでに終了しているが、現在も地域企業からの要望により、陸上養殖に関する受託研

究を継続的に実施している。また、公開講座や施設見学会、陸上養殖に関する企業対応、地域の産官学金連携による新たなプロジェクトの模索なども継続的に行っている。

#### 4.地（知）の拠点整備（COC+）事業

文部科学省が推進する「地（知）の拠点整備事業」として採択されたテーマ「防災・郷土教育を積み上げた、人に優しく安心して住める地域創り」では、銚子市の課題解決のため、地域の自然・環境や歴史・伝統・産業などの恩恵を知り学ぶ、地域志向の科目「銚子学」の開講、地域の団体と連携協力して実施する課題解決型科目「プロジェクト学習」の開講などを通じて、学生の地域社会とのコミュニケーション力を育成し、「地育地就」を進めてきた。

これを継続・発展させたCOC+では、千葉県内の地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力のある就職先を創出・開拓している。すでに連携大学全体の千葉県内就職者数割合では目標を達成、2022（令和4）年度は、34.4%と地域への人材定着に貢献している。

引き続き、COC+の目的である「地方で活躍できる人材の養成、地方での仕事づくり、若者が地方に根付くこと」に貢献していく。併せて、これらの地方公共団体・企業等が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムを改革していく。

#### 5. 地域連携・協働活動

本学の地域連携・協働活動の特徴として、

- ◆千葉県、銚子市との間で各種審議会等の政策レベルでの連携が極めて強いこと
- ◆特に3学部の特性を活かした、防災や医療を始めとする分野で連携していること
- ◆本学の危機管理教育と連動した学生たちの社会貢献活動が極めて活発であること
- ◆専門分野を通じた地元産業界等との連携がとれていること（SDGs 関連（海洋プラスチックごみ回収等） 犬吠埼温泉等）が挙げられる。

県、市、国の地方支分局、地元団体等という区分で主要な活動を示したのが以下である。

- 千葉県：「家畜伝染病発生時における防疫連携協力に関する協定」を締結し、発生時の防疫作業に従事する自衛隊に宿営地を提供
- 千葉県：「自然保護に関する協定書」～県環境影響評価委員会に参加  
「千葉SDGsパートナー」～SDGs活動
- 県銚子水産事務所：食育（魚）や水環境等に関する研究への協力
- 国交省利根川下流河川事務所：水防災教育における連携協力
- 銚子市：「包括連携協定」を締結して活動中。15の委員会・協議会・審議会の委員等として市政に協力
- 神栖市：「自然環境調査に関する協定」に基づき継続的に調査・報告の実施、市環境審議会委員会に参加
- 銚子市立病院：本学構内に新型コロナウイルス感染症検査のための特例衛生検査所を設置（2021（令和3）年1月8日～2023（令和5）年3月31日）
- JAちばみどり等：地域活性化や環境等に関する協定を締結し、活動中。
- 銚子円卓会議：災害支援策（循環備蓄）として「osusowake（おすそわけ）」
- 大 学：市民公開講座（2023（令和5）年度は、34講座）の実施

(県「ちば子ども大学」と連携、銚子市共催、旭市・匝瑳市・神栖市後援)

- 市民の健康サポート施策（「まちの保健室」、「看護の日」）
- 図書館の地域開放
- 大学施設の貸出し（消防団操法大会、危険物取扱者試験、英語検定試験、大学共通テスト等）
- 学生サークルによる地域貢献活動（学生消防隊、スターラビッツ、ローターアクトクラブ、DRR（Disaster Response Research）災害サバイバル）、手話サークル

その他、重複するものもあるが「地域連携活動」という区分で整理すると、以下の表で示される。

地域貢献活動	主な実績
ボランティア活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの実習授業（授業「ボランティア活動」）</li> <li>・銚子ジオパーク市民の会と連携した海岸清掃活動</li> <li>・東庄ポーク&amp;ビア夏祭り</li> <li>・ジオパーク大会</li> <li>・黒潮よさこい祭り、</li> <li>・看護の日（健康チェック 48 名参加）</li> <li>・まちの保健室（8 回 139 人参加）</li> <li>・6 中地区文化祭（健康コーナー）他</li> <li>・文部科学省の事業「こども見学デー」の一環として医療系の体験講座 2 回。</li> <li>・2022 年 8 月から 11 月に千葉県警のゼブラ・ストップ運動に協力（ウオッセ 21 にポスター掲示、市民公開講座での啓発）</li> </ul>
学生サークルを主体とした地域連携活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学生消防隊（3 回）</li> <li>・2022 年 9 月 6 日 第 43 回九都県市合同防災訓練（千葉県会場）の防災フェアにおける防災啓発活動</li> <li>・2022 年 10 月 30 日 千葉県防災危機管理部消防課との消防団啓発活動</li> <li>・2022 年 11 月 12 日 銚子市消防団との夜警（火の用心）活動（2022 年 3 月 29 日「千葉県地域防災力向上知事表彰」）</li> <li>■スターラビッツ（8 回）</li> <li>・2022 年 6 月 3 日 銚子警察署員との痴漢防止啓発活動</li> <li>・2022 年 7 月 12 日 銚子市役所・銚子警察署共催の夏期防犯・交通安全パトロール出動式</li> <li>・2022 年 9 月 30 日 銚子警察署員と地域ボランティアとの合同パトロール</li> <li>・2022 年 10 月 14 日 銚子警察署主催の電話 de 詐欺防犯活動（1 日警察官）</li> <li>・2022 年 10 月 30 日イオンモール銚子でゼブラ・ストップ運動</li> <li>・2022 年 11 月 27 日黒潮よさこい祭りで警備・交通誘導</li> <li>・銚子警察署との防犯啓発活動</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年11月12、13日 銚子警察署との防犯啓発活動</li> <li>・2022年11月27日 交通整理ボランティア</li> <li>・2022年12月7日 銚子市役所・銚子警察署共催の冬期防犯・交通安全パトロール出動式)</li> <li>■ローターアクトクラブ</li> <li>・2022年10月22日 ポリオデー（「世界ポリオデー」に成田空港でポリオ根絶のためのイベントや寄付の呼びかけボランティア）</li> <li>■DRR</li> <li>・2022年8月7日銚子マリーナ海水浴場の津波避難訓練に参加</li> <li>・2022年12月4日「愛宕町連合町内会防災訓練」</li> </ul>
地域連携活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災活動への参加（銚子警察署による「TDC 対策ネットワーク Choshi」</li> <li>・消防本部による「銚子市防火安全協会」</li> <li>・銚子市社会福祉協議会「銚子市災害ボランティアセンター」と意見交換)</li> <li>・千葉県東部地域メディカルラリー</li> <li>・ちばSDGsパートナー</li> <li>・「防災士」養成講座</li> <li>・「災害支援動物危機管理士」養成講座</li> <li>・国土交通省関東地方整備局利根川下流河川事務所と水防災教育</li> <li>・介護支援専門員研修</li> <li>・香取海匠山武保健所保健師研修</li> <li>・波崎高等学校教諭救命研修</li> <li>・千葉県消防学校</li> <li>・多古中央病院・自治体職員他</li> </ul>
高大連携活動	<p>毎年、波崎高等学校デュアルシステムに対応、千葉県立銚子高等学校及び銚子水産事務所と食育企画、千葉県立銚子高等学校の学校設定教科「防災の学び」に協力（千葉県立銚子高等学校が安全功労者内閣総理大臣表彰を受賞）。銚子商業高等学校、銚子市立銚子高等学校、千葉県立銚子高等学校の教員と本学が授業の勉強会を行う「高大授業錬磨」を開始。</p>
インターンシップ (one day も含む。)	<p>千葉県庁、銚子市役所（危機管理室他）、銚子商工信用組合、銚子警察署、銚子消防本部、水戸市消防局、鹿嶋市役所、香取広域市町村圏事務組合消防本部、成田市消防本部、旭市消防本部、四街道市消防本部、ホテルマロウド筑波、家畜改良センター、成田国際空港㈱ 他</p>
審議会/各種委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・銚子市総合戦略検証委員会</li> <li>・銚子市男女共同参画計画推進委員会</li> <li>・情報公開・個人情報保護運営審議会</li> <li>・銚子市病院事業運営協議会</li> <li>・銚子市都市計画審議会</li> <li>・銚子市空家等対策協議会</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・銚子市環境審議会</li> <li>・銚子市立銚子高等学校 学校運営協議会</li> <li>・銚子市上下水道運営審議会</li> <li>・銚子市ゼロカーボンビジョン策定協議会</li> <li>・銚子円卓会議</li> <li>・銚子市青少年指導センター運営協議会</li> <li>・神栖市（神栖市環境審議会）</li> <li>・千葉県（環境影響評価委員会）</li> <li>・銚子市介護保険事業等運営協議会</li> <li>・銚子市保健対策推進協議会</li> <li>・銚子市障害者介護給付費等審査会委員</li> <li>・神栖市防災士協会他</li> </ul>
市民公開講座等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉科学大学市民公開講座（2022 年は、計 27 講座、2023 年は、計 34 講座）</li> <li>・ウクライナ大使による特別講義。千葉県生涯大学東総学園 7 回</li> </ul>
地域貢献研究等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題解決型授業（銚子学、プロジェクト学習）</li> <li>・共助のローリングストック「OSUSOWAKE」（2021 年ちばコラボ大賞（千葉県知事賞）受賞）</li> <li>・科研費（水環境、好適環境水）</li> <li>・CIS フォーラム（犬吠埼温泉、津波避難、ジオパーク、豚、農業と漁業、獣害）</li> <li>・シンポジウム（利根川河口の魅力とその利活用 in 銚子）</li> <li>・自然災害型ダークツーリズム</li> <li>・香取保健所が実施した研究の指導を実施</li> </ul>
地域受託事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神栖市（自然環境調査）</li> <li>・県内（淡水魚ホンモロコ、貝類焼成カルシウム、卵殻焼成カルシウム配合スプレー塗布による犬被毛における経時的な検討</li> <li>・サンチュを用いたアクアポニクス技術開発）</li> </ul>
薬物乱用防止教育	<p>大学周辺の小・中・高等学校からの依頼によって、薬学部の教員が薬物乱用防止に関する教育活動を行っている（銚子市立第二中学校、飯沼小学校、旭市立旭市立矢指小学校、神栖市立第一中学校など約 20 校）</p>